



松藤 裕也
(移住定住促進担当)

こんにちは、松藤裕也です。家族を東京に残し、一人この町に移住し協力隊の活動を始めて、ちょうど一年が経ちました。まずは昨年度の活動を振り返ってみたいと思います。

着任して最初にした仕事は、日野沢川ふれあい広場の柵の制作でした。DIYやもの作りという得意分野を生かして柵がなかった部分に竹柵を作りました。

意な分野を生かしながらの業務となりました。

それと同時進行で進めたのが、ヘリテイジ美の山の「森のラウンジ」計画です。支配人の山本さんと相談・協力しながら、森にアウトドアの要素を加えてワーケーションに活用してもらったり、ハンモックにゆられながらリラクセスしてもらったりと狙って、ホテル横の広葉樹の森に手を加えていきました。また、サービスに「焚き火」も追加しました。今はテントサウナの導入を検討したいということで、こちらも協力していると思います。



東京の家族もよく遊びにきてくれた

次に皆野町ワーケーションに向けての準備です。同僚の奥村隊員と協力しながら、参加する宿泊施設の取材・撮影、そしてホームページ作り、そのホームページに掲載するための動画の撮影・編集などを随時進めてきました。このあたりは、奥村隊員の本業である写真業と僕の本業である映像業というお互いの得

ような写真素材の撮影、「みどりを守るボランティア」への参加などがあります。

また、12月からは皆野高校での特別授業も月一回のペースで行っております。高校二年生のクラスで、主に「町の観光資源について」や「皆野町の未来について」について、自分の人生経験も交えながらお話をしております。これから大きな将来に向かって進んでいく生徒たちに少しでも役立てば、という思いです。さらに、お試し住宅「来てみくな」の利用者の面談も行ってきました。実際に皆野町に滞在してどうだったのか、移住に関して心配事などはあるのかなど、なるべくきめ細かいサポートができるように面談の中で利用者の思いを引き出すように心がけました。



皆野高校での授業の様子

そしてそれらと同時に、今年一年かけて行なってきたことに「僕らのミナノベース」計画があります。これは、カフェ・キャンプ・様々なイベントや体験を通じて都心からお客を呼び込み、皆野の関係人口を増やし知名度を上げていき、将来的には移住にもつながるような計画です。昨年6月に今の候補地を見つけ、そこから地元の方や地権者の方との話し合い、説明会を経て、現在は候補地にある空き家をお借りして自分で改装してカフェを作っている最中です。

このカフェを、憩いの場であると同時に移住者にとつての情報収集の場にしたいと思っています。

さて、今年度の活動目標ですが、基本的には昨年度の活動を引き続き行うことが基本になり



現在改装中の空き家

ます。「移住・定住」はそう簡単には成果の出るものではありません。地道に継続的に進んでいくことが何よりも大切だと考えますので今後も精力的に動き続けようと思います。そして「僕らのミナノベース」計画もどんどん進めていきます。地権者・地元の皆さんのご意見をよく伺いながら、町がもっと元気になるような場を作っていきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします!!

「僕らのミナノベース」
づくり、頑張り
ます!

